

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
秋田駅周辺地区

平成23年8月

秋田県秋田市

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

## 様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅東西間移動環境の満足度	%	32	50	74	確定 ● 見込み	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	自転車対応施設が整備されたことにより、利便性が向上した。
指標2	安全性、防災性の向上	m <sup>2</sup>	55,000	84,000	100,720	確定 ● 見込み	○	あり なし	102.924	H23年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	土地区画整理事業が順調に進み、地区内の安全性・防災性は着実に向上している。
指標3	秋田駅東口の通行量	人	11,464	17,000	14,676	確定 ● 見込み	△	あり なし ●				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	駅前地区全体の通行量が減少傾向にある中、計測地点の通行量は増加している。
指標4	土地利用の利便性の向上	m <sup>2</sup>	5,500	0	2,815	確定 ● 見込み	△	あり なし ●	2,815	H23年3月	△	土地区画整理事業進捗の遅れ <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	土地区画整理事業の進捗の遅れにより目標値の達成には至らなかったものの、地区内の土地の利便性は着実に向上している。
指標5	雪生活の向上	%	0	50	76	確定 ● 見込み	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	地区住民に除雪機を貸し出し、迅速かつ細やかな除雪が可能となり、地区住民の除雪に対する意識向上が図られた。
指標6	秋田杉を活用したまちづくりへの取組みに対する満足度	%	45	67	87	確定 ● 見込み	○	あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	地域資源を活用した個性ある街並みづくりは、市民や県外客に対する都市イメージの向上につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	秋田拠点センター・アルヴェの入館者数	万人/年	238	/	336	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	まちづくり市民活動を多面的に支援し、駅周辺施設の利用拡大とにぎわい向上につながった。
その他の数値指標2	秋田駅東西連絡自由通路(ぼぼろーど)のイベント・事業開催数	件/年	220	/	365	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	官民連携によるイベントの企画・開催が増加し、市民活動の活性化につながった。
その他の数値指標3	集合住宅の建築数	戸	0	/	129	確定 ● 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たな改善策をたてる	土地区画整理事業により整備されたブロックは、利便性や周辺環境が向上したことから、いち早く民間マンションの建設が進み、地区内人口の増加につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
指標1	秋田杉を活用したまちづくりの拡大	秋田杉によるまちづくりについて、他の場所(集客施設等)への設置検討	秋田駅西口バス停広場への整備について、第二期整備計画に盛り込み、H23年度に実施する。	公共施設をモデルとした地域内資源循環の取組をアピールし、民間施設への波及を促進することが必要。
	Weロードの自転車利用者の増大	自転車利用者に対するPRの強化	秋田駅西口の大型店が共同で、まちなかの買い物をさらに便利にするため、自転車利用を促進するサービスを一齐に開始	Weロードにおける自転車での利用向上を図り、自転車が便利なまちづくりを推進する。
	健全な市街地形成	土地区画整理事業による基盤整備と市街地環境の整備を図るため、建物移転補償、道路工事等を実施した。	土地区画整理事業の進捗に伴って行き止まりや狭隘道路が解消するとともに宅地の再配置が進んでおり、市街地の安全性、防災性が向上している。	引き続き、効率的な事業推進に努めるとともに、地区住民との対話を一層密にし、地区内の生活環境の改善に向けて努力していく。
	駅周辺での開催イベントの定着	イベントに対する支援および西口商業施設へのまちの駅の設置等によるにぎわい施策の強化を行った。	市民やNPOなどが主体となるさまざまなまちづくり活動やイベントが実施された。	市民活動の持続的発展のため、支援策の継続充実を図るとともに、自立に向けた方策を検討
改善策	駅周辺地区の低未利用地の有効活用	地権者への有効活用方策のPR	土地活用に関する意識が向上しつつあるが、活用手法の知識がないためあまり進展していない。	地権者に、的確な土地活用の手法を伝え実践できるスキルを身につけた専門家を育成し、マッチングすることが必要。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>	アルヴェを核とした駅東西の一体的な賑わい創出	駅周辺の一体的な賑わい創出のため、ぼぼろーどやアルヴェを主会場としてJRやNHKと協働プロジェクトを実施した。	一体的な取り組みにより相乗効果を生み出し、駅東西間の人の流れの創出や賑わいに寄与している。	育成した担い手が市民活動を持続的に展開できるよう、支援策の継続・充実を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
なし			